

令和6年香陵ホッケークラブ総会議案書

令和6年1月1日(月・祝) 午前9時30分～ 於：沼津東高等学校 東グラウンド

【議案】

- 第1号議案 令和5年事業報告及び決算報告
- 第2号議案 令和6年事業計画(案)及び予算(案)
- 第3号議案 創部75周年記念事業について
- 第4号議案 令和6年・7年役員選出

◎第1号議案 令和5年事業報告及び決算報告 (事業報告)

- 1月1日(日)定期総会・元旦試合の開催
- 3月4日(土)沼津市ホッケー協会主催の沼津市スポーツ祭に参加、2チーム13人が出場
- 3月19日(日)県ホッケー協会主催のホッケー選手権に3人が出場
- 4月29日(土)県ホッケー協会主催のホッケーカーニバルに参加、1チーム10人が出場
- 10月15日(日)県ホッケー協会主催のスポーツフェスティバルは雨天中止
- 役員会を3回開催(1月22日(日)、8月20日(日)、10月29日(日)に開催)
- 高校生の活動などを随時、香陵ホッケークラブのホームページに掲載するなど、広報に注力
- 沼津東高等学校ホッケー部の活動支援は十分に行えなかった

(令和5年決算報告書)

(単位 円)


収入		支出	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越	975,189	定期総会費	11,000
年会費(53人)	265,000	県ホッケー協会加盟料	50,000
寄附金(7人)	125,000	ホームページ管理費	30,000
		各種大会参加費	58,511
		高校生強化費	7,568
		通信費	23,940
		役員会会議費	6,094
		事務用品費	26,732
		雑費(送金手数料)	21,645
		小計	235,490
		日本ホッケー協会の寄付	100,000
		合計	335,490
		次期繰越金	1,029,699
計	1,365,189	計	1,365,189

※ 繰越金内訳 現金11円 静銀28,023円(11/8最終取引日) 郵便局1,001,665円(11/28最終取引日)

※ 「各種大会参加」には、大会に参加する選手、延べ10人に支給した交通費補助、計48,000円を含む

【監査報告】

令和5年の事業収支について監査した結果、事業は適正に行われ、会計処理も適正であることを確認しました。

監査人(幹事長) 山田昌弘 

令和5年12月21日

◎第2号議案 令和6年事業計画(案)及び予算(案)

本年も、以下の2点を基本方針とします

- 若手OBの参加者を増やし、合同練習や練習試合を行うことで高校生のレベルアップに貢献
- 各種大会のPR、クラブの活動の広報を強化し、ホッケー経験者の参加を促す
(事業計画案)
- 定期総会、元旦試合の開催(1月1日、月)
- 下記大会に参加
沼津市スポーツ祭(3月2日、土)、静岡県ホッケー選手権(3月16日、17日、予定)
ホッケーカーニバル(時期未定)、しずおかスポーツフェスティバル(10月20日、日)
- 高校卒業生のクラブへの入会式を初めて実施(3月2日、土)
- 創部75周年記念事業の実施
- 県ホッケー協会、高体連主催の各競技会への参加・協力
- NPO法人沼津市スポーツ協会主催行事への参加・協力
- 沼津東高等学校ホッケー部の活動支援
- 会員への広報活動

(令和6年予算案)

(単位 円)

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越	1,029,699	定期総会費	10,000
会費(55名分)	275,000	県ホッケー協会加盟料	50,000
寄付金	25,000	ホームページ管理費	30,000
		各種大会参加費	100,000
		通信費	30,000
		役員会会議費	10,000
		事務用品費	20,000
		高校生生活動の補助	100,000
		慶弔費	10,000
		雑費(送金手数料 他)	8,000
		支出合計	368,000
		75周年記念事業費	100,000
		次年度繰越金	861,699
計	1,329,699	計	1,329,699

◎ 第3号議案 創部75周年記念事業について

沼津東高校ホッケー部は、令和6年をもって創部75周年を迎えます。それを記念して、東京2020オリンピックのホッケー会場となった大井ホッケー競技場でのOB対抗戦などを計画しています。開催日程や開催経費など詰めていかなければならない事が多いですが、役員一丸となって開催に向け活動していきます。事業計画が決まりましたら、ホームページなどでお知らせいたします。皆様のご参加・ご協力をお願いいたします。

◎ 第4号議案 令和6年・7年役員選出

令和6年・7年の新執行部のメンバーを、別紙のとおり提案いたします。

令和4年・5年の新執行部のメンバーと同じです。

各種大会の参加人員の安定的確保、高校生への支援、75周年記念事業の実施など、昨年より取り組んでいる課題に対し、同じメンバーで引き続き取り組んでいきます。